

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年3月11日公開

プーチン演説、北朝鮮と会談「タコス」

今日の預言アップデートの準備をしながら、全てのことがあまりにも迅速に進んでいて、全てのことが、どんどんスピードアップしている様子に驚愕しました。まるで世界の指導者たちが、「鉄は熱いうちに打て」のことわざ通り、急いで攻撃するように、何かの力によって、動かされているように思えます。ですので今日は、この、地球規模で促進されているように見えるものについて、お話したいと思います。また同時に、「なぜ聖書預言の成就が、急速に進んでいるのか」という疑問にお答えしたいと思います。以前も同じ表現をしましたが、物事が急速に進んでいくのを、人や何かが一時的停止ボタンを押すとは、私には思えないのです。むしろ、早送りのボタンを押しているように思えます。物事が、ものすごいスピードで進んでいますから。ものすごい速さです。まずはこの The Jerusalem Post の記事から始めます。この中で、彼らは疑問を投げかけています。「なぜアメリカは、大使館の移転を加速しているのか？」彼らはこう書いています。イスラエル建国70周年記念日の独立記念日5月に、大使館をテルアビブからエルサレムに根本的に移転するという、国務省の発表は、“非常に大きなスケジュールの短縮だ。”一体何があったのか？なぜ今アメリカは、5月中旬までにエルサレムにある現在の領事館を大使館とし、デービッド・フリードマン大使や、その他の職員を移動させることに決めたのか？ところで5月中旬といえば、約1ヶ月半先ですよ？筆者は、その理由を3つ挙げています。言うならば、少なくとも地政治的には利点があるのかも知れないが、私が思うに、他にもっと理由はあるだろう。そして、筆者の一人が主張するのは、ネタニヤフは、イスラエル国内で彼に対する数々の捜査が行われる中で、政治的な後押しが必要だったのだろう。3つ目は、トランプがネタニヤフを首相に置いておきたいのだ。その為に何としてでも、彼を政治的に助けようとしているのだろう。確かに、必要な政治的後押しを提供するのは、理由の1つでしょう。

金曜日の Atutz Sheva が報じたのは、「トランプ時代においては、時はパレスチナの味方ではない。」これはとても興味深い記事ですよ。記事の中で、文部大臣ナフタリ・ベネットの言葉を引用しています。「ドナルド・トランプ大統領は、イスラエルとパレスチナ当局との交渉の方程式を根本的に変えた。」ユダヤ人の家長の言葉を引用して、「2017年12月の、ドナルド・トランプ大統領によるエルサレムをイスラエルの首都と認識し、アメリカ大使館を移動するとの宣言は、パレスチナ指導者たちの、最終地位交渉を遅らせる、あらゆる狂気を退けた。そして、イスラエルとの交渉の可能性を高めた。」だから私は、このトランプの宣言と決断が聡明だと思うのです。これは聡明ですよ。ベネットは言います。「宣言は…」彼の発言です。よく聞いてください。「あの宣言によって、平和、または平和の機会をもたらすか、もしくは加速させる可能性がある。」「私が思うに…」よく聞いてください。ベネットは言います。「パレスチナ人には、過去50年間ずっと、実に単純な戦略があったのです。『時が自分たちの味方だ。』と。だから彼らはただ待ちました。そして彼らは、待つたびにさらに良い条件が与えられたのです。」- これは事実です。- 「93年から2000年、2000年から2007年を見れば、協議内容は良くなっているのが分かります。なら当然待つでしょう。実際行われたのは、流行りのベクトル（方向）を変え、“突然”」-私はこの“突然”という言葉が好きですよ。- 「突然、パレスチナ人達は、明らかに“時は彼らの味方”でないことに気づいたのです。恐らく彼らは動き出すでしょう。」

ところで、今日のメッセージには入っていませんが、私が読んだある記事に、マフムード・アッパースの健康問題について報じられていました。これは流れを変えますよ。これはゲームチェンジになるでしょう。その内分かります。という事で、今、いわゆる“パレスチナ人”の側には、差し迫るものがあるわけです。1つ。。。いや1つではないのですが、こういった報道の中には、特記すべき言葉があって、それを私は強調しておきたいのです。「突然」とか、「全スケジュールを変える」とか、「ベクトル（向き）をくつがえす」とか。その他このような言葉が全体的に共通項となっています。

木曜の Arutz Sheva がこれまた報道しているのは、チェコの大統領が、彼らの大使館もエルサレムに移動させようとしているとの事。それも、“促進する”為に。アメリカが、イスラエルとの独立70周年記念である5月14日に、エルサレムにある領事館を大使館にすると発表した後、在ブラハのイスラエル大使 Daniel Meron は、ゼマンが彼の国も、アメリカ大統領ドナルド・トランプの指導に追従したいと言ったチェコの新聞についてツイートしました。皆さん覚えていらっしゃるでしょうか？ドナルド・トランプが、アメリカの大統領に選ばれた直後の預言アップデートで私は、次のように発言しています。「聖書預言が加速し始めた。」まさに私は同じ言葉を使ったのですが、今や私たちの目の前で、それが実証されている気がします。この5月に先駆けて促進しているといえ、皆さんも私同様に、かなり驚かれたのではないかと思うのが、この突然の緊急速報です。北朝鮮の独裁者金正恩と、アメリカ大統領のドナルド・トランプが、5月以前に会談することに合意しました。5月は非常に面白い月になりそうですね。深い意味はありませんが。

Al Arabyah によれば、会談は朝鮮半島から核兵器を排除する、安全合意に関してだとの事。突然の発表だった為、トランプは、チャン（韓国国家安全保障問題担当顧問）と共に登場することはなかったが、先日ホワイトハウスの記者会見室で、韓国は近いうちに『大きな発表』をすることになるだろうと約束した。私はこれを見ていましたよ。突然、緊急速報！！緊急速報！！と出ました。だからいつもテレビをつけっぱなしにしているのです。何よりもまず、こういうことは知っておかなければなりませんから。だから緊急速報！！と聞くと、こんな風に「やったっ！主よ。来てくださいますね？早く来てください！本当に早く来て欲しい...だから、かかってこい！」私がこれを言う時は、もっと聖化された形で言うのですがね。ともかく突然！どこからともなく「トランプが北朝鮮の独裁者と会う！」マジですか？！すごい事ですよ！一体全体？！なぜ急ぐのです？なぜ、そんなに差し迫っているのです？なぜ、5月の前なのですか？なぜ、今ですか？

Al Arabyah は続けて報じています。「トランプは、これを“非常に肯定的に”歓迎して次のように言った。」-これまた言葉選びをよく聞いてください。-「彼の最大の圧力によって、金と軍事縮小会談まで、思いがけない突破が、迅速に迫っている。」木曜日、中国の外務大臣の王毅もまた、この明らかな突破口を、慎重に歓迎しながら、ワシントンと北朝鮮に電話をし...」-良く聞いてください。-「遅いよりも早いほうが良い。要は、今がその時だ。」ロイター誌によれば、どうもロシア、イラン、トルコは、5月まで待たず、来月4月に集まるようです。またプーチンと、ロウハーニーと、シリアに関してどんどん仲間入りしているエルドアンが、他に数ある議題の中でも、シリアの状況について話し合うという噂があるとのこと。良いですか？私がこれを言うと、壊れたレコードのように聞こえることは分かっていますよ？若い皆さん、レコードとは、黒くて丸いCDのようなもので、ターンテーブルの上をグルグル回ります。ところでこれがまた復活しているそうですね。ともかくもう一回言いたいと思います。これは、シリアのダマスカスが“突如”滅び、廃墟となる、というイザヤ書17章ですよ。全ての役者が揃っています。全てが配置についています。この預言が成就するために、これ以上必要なことは何もありません。今は、この預言成就の寸前ですよ。それから私が心底信じているのは、この預言が、次の預言、エゼキエル38章成就のきっかけになる。そこでは、ロシア、イラン、トルコ、

他も含めて他の国々が同盟を組んで、イスラエルに核攻撃を行います。しかし神が、それを阻止されます。神ご自身がご介入されるのです。イスラエルを防衛するものは誰もいません。アメリカ合衆国もそこにはいませんよ？イスラエルの唯一の防衛は、彼らの神だけ。エゼキエル 38 章の詳細が、非常に興味深くて、神は次のように言われるのです。「**私がこれを行うのは、私が、あなた方の主である神だということ、あなた方と、それから、彼らも知るためだ。**」

私は旧約聖書が大好きですが、木曜日の聖書の学びに来られている皆さん、この言葉を何度読んででしょう。

「わたしは、あなたの神、主である。」「わたしが、あなたの神である。」「聞け。イスラエル。」彼らの目を向けさせると言えば、彼らはそれが主の力であることを見ますよ。彼らの軍力ではありません。イスラエルの軍力は圧倒的でしょうが、それでも将来起こる、このエゼキエル戦争の最中に、彼らを守り、彼らを保護するのは、彼らの全能の神の御手なのです。つまりわたしが言いたいのは、全ての預言が起こりつつあり、私たちはそうなることと告げられていた事が、成就されつつあるのを目にしているのです。

次にこれは、ウラジミール・プーチンによる、最も驚愕の宣言の後の事です。

Haaretz が、それを見出して報道しています。プーチンは、ロシアが核弾頭を装備した水中ドローンと、新しい超音速武器を所有していると宣言しました。超音速とは、超高速です。史上製造された物の中で、最速です。報道によれば、プーチンは次のように発言しました。ウラジミール・プーチンが、アメリカに向けたこの不吉な脅迫をよく聞いてください。よく聞いてくださいよ。プーチンは言いました。「アメリカは、ロシアの苦情を無視した。誰も、我々の声に耳を傾けなかった。今、我々の声を聞くんだ。」彼は警告した。加えて、「私はハッキリを言っているのではない！」これはまた、好戦的な言葉ですね。「我々は...」よく聞いてください。「ロシアと、ロシアの味方に対する、いかなる核兵器使用は...」ロシアの味方とは誰ですか？イランですね？「どれほどの強固であっても...」誰のことを言っていると思いますか？「もしくは、低かろうが、中ぐらいであろうが、誰もが...」これはかなり広範囲ですね。「核攻撃を被る。」彼は言いました。この言葉を聞いてください。「“直ちに”、その引き金を引く事になる。」「そこから発生するあらゆる結果に、直ちに報復する。それについて誰も疑うな！」わお！わお！ほんとに？

つまり彼が言ったのは、もしロシアが、彼らの味方が攻撃されるなら、それまでだ、報復する、という事ですか？そうです。

3月1日木曜日、Megyn Kelly がウラジミール・プーチンをインタビューしました。彼女を賞賛すべき点は、彼女が次の質問で彼に迫ったのです。現在と、今後について「聞かせてください。今日、武器の使用について語っておられましたから。」核兵器の事を言っています。「『もしロシアか、その味方国が攻撃されるなら』と言われましたが、お聞きしたいのは、これはロシアか、その味方国に対する、どんな攻撃でもですか？それとも、核攻撃だけですか？」非常に重要な質問ですよ。これは、もしアメリカ、もしくはイスラエルが、新たに、ロシアとイランのドローンを撃墜した時に、プーチンがそれを口実に利用して、核兵器を使うかも知れないのです。エゼキエル 38 章とは言えませんか？とてもいい質問ですね。では答えはどうだったでしょう。ああ。プーチンはいつもの通り、質問を完全にかわしました。そこで Megyn Kelly は...彼女を賞賛しますよ。再び、2度目の質問をしました。「繰り返しますが、もしロシアや、ロシアの味方が攻撃されるなら、これらの核兵器を使用する、とあなたは言われましたね？それはあらゆる攻撃ですか？それとも核攻撃ですか？」よくぞ言いました！彼の答えはどうだったでしょう？これから彼の答えを読み上げます。補足的に取り急ぎお伝えしておきますと、ロシアの味方は他に誰がいるか、皆さんご存知ですか？北朝鮮ですよ。もし何かが起これば...？

ところで、ある人が示唆していた事を、お話しする意義はあるかもしれないのでお伝えすると、彼のことは色々な呼び名が出ていますが、一つはトランプが、ロケットマン（金正恩）と会談していて、バックには、エルトン・ジョンの音楽。ともかく、もしそれが上手く行かなかったらどうなるのか？に対して、示唆されているのが、それが上手くいかなかった時に、アメリカは北朝鮮に対して、何かを仕掛けるのだらうと言う意見です。そして北朝鮮は、ロシアの味方ですよ。という事で、「プーチン、これは核攻撃を言っているのか、それともあらゆる攻撃を指すのか？あなたと、あなたの味方に対する、あらゆる攻撃？どちらですか？両方ですか？」彼の答えを聞いてください。「我々が、核の抑止力を使うのには、2つの理由がある。ロシア同盟国に対する核攻撃、もしくは従来の…」何？！従来の、ですか？そうです。「国家存続の危険に晒す、従来の攻撃が、ロシアの同盟国に向けられた時だ。」すると Megyn Kelly が聞きます。「それは核兵器使用に関する、既存のロシアの教義と一貫しているのですか？」それに対して、プーチンの回答は、「その通りだ！我々が核兵器で報復する理由には、2つの可能性がある。」つまり核兵器、もしくは従来の武器です。いいですか？私はセンセーショナルになったり、挑発的にならないように心がけていますが、他にどうやって良いのか分かりません。これは大きいですよ！これは大きな事です。どう言えば良いでしょうか...これが全てを変えますよ。この宣言によって全てが変わります。ある人は、プーチンの事を、地上で最も危険な男だと言い、イスラムと、イスラムテロ以上に危険だと言います。そのプーチン、この一人の男です。そしてロシアを思い浮かべる時は、必ず同意語として、イランを考えておかななくてはなりません。ロシアとイランは、長年共通の防衛条約を結んでいるのですよ。それからちなみに、イランと北朝鮮もです。勘違いしてはいけませんよ。北朝鮮の核能力は、イランとロシアが持っている核能力です。これらの核装置を到達させる発射システムを、彼らは、「持つであろう」ではなく、「持っている」のです。これらの核装置を到達させるシステムです。

はい。これらのことから、全てがこれまでになかったほどに加速し、加熱し、加速度を増していると言えるでしょう。ここから初めの疑問、「なぜ？」が浮かんで来るわけで、あまりにも簡素化し過ぎだと言われるかも知れませんが、それは聖書がそう告げているからです。これらはまさに、主が携挙に来られる時、主の来臨に繋がる事柄なのです。もっと具体的に言いましょ。聖書全体の至るところで、それは頻度と激しさを増大させながら加速度を増す、妊婦の、産みの苦しみに例えられています。産みの苦しみに、私たちが知っている真実とは、頻度が増し、激しさが増す事です。そしてイエスご自身が、主が戻って来られるのを、妊婦の産みの苦しみに例えられたのです。主は、妊婦が出産する時の、赤ん坊が生まれる時のように来られます。私と妻は、10年間子供が出来なくて、原因不明の不妊だと言われていたのですが、その時私は、女性の解剖学について色々学びました。それまでは、特に興味はなかったのですが。女性は、赤ん坊が生まれるとき、子宮口が10cmまで広がります。ところでこの陣痛が始まると、一旦停止は出来ませんか？想像できますか？医者が来て、「ちょっと昼食を食べてきます。職員会議があるので、陣痛は来ていますが私が戻るまで少し停止しておきますね。」なんて言う??いいえ。一旦陣痛が始まれば、赤ん坊は生まれてきますよ。これをイエスは言っておられるのです。これらの産みの苦しみが始まると、私はやって来る！と。「わたしは、来る。」

「先生何が言いたいのですか？世は、10cm開いたというのですか？」私はそう思いますよ。「わお！自信たっぷりですね？」いいですか？私は長年聖書預言を学んでいますが、主が来られるのが近い事に、今ほどワクワクしたことはありません。主の戻りがものすごく近い事を感じて、今ほど興奮したことはありません。あまりにも多くのことが、ものすごい速さで起こっています。最後に、黙示録 22：7 を見てください。実際イエスが、黙示録 22 章で 2 回、こう言われているのです。聖書の最後の書、黙示録の最後の章ですよ。聖書の

中で唯一、これを朗読するものと、それを聞いて、そこに書かれている事を心に留める者に、祝福が約束されている書です。全66書の中で、唯一、読むもの、聞いて心に留める者に祝福が約束されている書です。彼の来臨について、救い主の言葉をよく聞いてください。黙示録22:7、彼が言っておられます。

「見よ。わたしはすぐに来る...。」“すぐに”という言葉は、よく覚えておいてください。「...この書の預言のことばを堅く守るものは、幸いである。」(黙示録22:7) この、“すぐに”は、新約聖書の原語であるギリシャ語でなんというかご存知ですか？これは、ギリシャ語では、「タコス」英語の「タコメーター」という言葉はここから来ています。タコメーターとは何でしょう？タコメーターとは、1分間の回転数を測るものです。時間はすでに、1分に設定されています。これは1分間にどれだけ回転するかを測るのです。ここで、イエスが言っておられることが分かりますか？

「見よ。わたしは、“物事が加速度を増し始めたら”来る。」「“早く動き始めたら”“素早く起こり始めたら”その時に、わたしはやって来る。」

皆さんも、イエスが言われたとおりに、物事が加速度を増していると思いませんか？物事が、すごい速さで起こっている、と？今日私が紹介したのは、現在起こっている事のほんの一部ですよ。あまりにも多くの事が起こっているのです。技術の世界でも、人工知能など、全てのことがものすごいスピードで起こりつつあって、イエスは、「わたしが来るのは、そういう時だ。」と言われたのです。これらの事が、このような速度で起こり始めた時に。

今日は少し趣向を変えて、今日は聖餐式を行いますので、時間を確認しながら...皆さんの忍耐に感謝します。もし帰らなければならない方は、理解しますので、どうか残れる方は、残って共に聖餐に与ってください。今日は聖餐式の時に、福音についてお話ししたいと思います。ではご起立ください。

私たちが最後の晩餐と呼ぶ事柄について、わたしはルカの福音書22章の描写が大好きです。14節から20節まで読んでみましょう。ルカが、聖霊によって書いています。

さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスと一緒に席に着いた。イエスは言われた。

「わたしは苦しみを受ける前に、あなた方と一緒に、この過ぎ越しの食事をするをどんなに望んでいたことか。あなたがたに言いますが、過ぎ越しが神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過ぎ越しの食事をすることはありません。」

そしてイエスは杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなた方に言いますが、今から神の国が来るときまでは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」それからパンを取り、感謝をささげてから、裂いて弟子たちに与えて言われた。「これはあなたがたのために与える、わたしの体です。わたしを覚えてこれを行いなさい。」食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」(ルカ22:14-20)

主の食卓に与る中で、福音をごくシンプルに伝えたい理由は、私たちは今日まさにそれを祝っているからです。イエス・キリストによる救いの良い知らせ。私たちの為に、私たちの代わりに死なれ、彼の体は砕かれました。彼の血は、私たちの代わりに流され、私たちの全ての罪の贖いが、全額支払われました。聖書には、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはない。とあります。(ヘブル9:22)

だから古い契約では、イスラエル人は、傷のない小羊をささげなければならなかったのです。罪を犯すたびに、小羊の血を流さなければなりません。ちなみにそれは、過ぎ越しから始まったのです。そしてイエスが、過ぎ越しの小羊として成就されました。説明しましょう。10番目の災いは、長子の死でした。しかしもしイスラエル人たちが、小羊に傷もシミもシワもないかどうか、4日間調べ...ちなみにそれは、イエスが裁判にかけられたのと全く同じ期間です。彼も罪がなかったことが認められました。シワも、シミも、罪もない。そしてアピブの月の14日目、第9の時に、その小羊の首を斬り、皮膚、体を裂きます。骨ではありません。骨は1本も折られないという預言があり、イエスの骨は1本も折られませんでした。皮膚は裂かれました。罪のない小羊の砕かれた体から、血が流されたのです。そしてヒソプの枝で、家の門柱とかもい、上と土台と、左と右とで、ちなみにこれは十字架の形です。(出エジプト記12:7) こういった型は、旧約聖書の至るところに見られます。大司祭が幕屋、のちの神殿でささげものをする時の、ささげものを揺り動かす方は、上下左右で、十字架の形です。(レビ記23:11) 人を死なせる為の十字架刑用の、ローマの十字架が、発明されるはるか以前です。

という事で、人々は罪のない小羊の血を、それぞれの家の門柱に、十字架の形に塗ったのです。そうすれば、死の御使いが、彼らの家を過ぎ越しました。そして彼らの長子は死ななかつた。なぜか？

それは、神は、実に世を愛された。その為に、ただの子ではなく、ひとり子をお与えになったのです。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。(ヨハネ3:16) これが福音です。

福音の意味はご存知ですか？それは良い知らせです。あなたの負債は支払われた。あなたは自由なのです。他の誰かがあなたの代わりに支払ったのです。あなたの死刑を受けたのです。あなたの死刑が代わりに支払われた。誰か他の人が、あなたの為に、あなたの代わりに死んだのです。だから私たちは今日ここで、それを祝っています。

あと少しだけお付き合いください。また救いのABCを行いたいと思います。というのも、もし今朝、ここにいる方、もしくはオンラインでこれをご覧になっている方で、今まで一度も主の御名を呼び求めて救われていない方は、この聖餐式の日曜日、どうか聖餐に与らないようにお願いします。その理由を説明します。これに与るという事は、イエスがあなたの為にしてくださった事を覚えて、祝うという事です。あなたには、ふさわしくない形でこれに与って欲しくないのです。もしあなたが、神の御霊によって新しく生まれていないなら、そしてイエス・キリストがあなたの主でないなら、何のために与るのですか？しかしながら、あなたが人生の中で決める最も大きな決断をするには、最高の時ではないですか？永遠のいのちの決断です。そうすれば、私たちと共に与れるのです。その方法をご説明します。これはABCと同じぐらい簡単です。

Aは、自分が罪人であると「Admit/認める」自分の罪、自分が神の栄光を受けられないことを「Acknowledge/認識」するのです。

「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ3:10)

全ての人には罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず(ローマ3:23)

罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠の命です。

(ローマ6:23) それがA、

次にBです。Bは、イエス・キリストが主であると、心で「Believe/信じる」これは、ローマ10:9-10で、こうあります。

...あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。...**(ローマ 10:9-10)**

そして最後に、**C**は、主の御名を「Call/呼び求める」これもまたローマ書 10:9-10 に書かれています。なぜならもしあなたの口で、イエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。**(ローマ 10:9-10)**

そして最後に、ローマ 10:13 です。

主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。**(ローマ 10:13)**



私たち、主の御名を呼び求めた者は、共にパンと杯をいただき、イエス・キリストが私たちの為にしてくださった事を、祝いたいと思います。今までに一度も呼び求めたことのない方は、少し立ち止まって、心を静めて確かめてみませんか？私たちは祈りますから。静かな心で。オンラインでご覧になっている方も、イエス・キリストが、死からよみがえった事、十字架にかかり、葬られ、死から再びよみがえった事を、心で信じて、主の御名を呼び求めませんか？あなたの罪と、救い主が必要であることを、認識して。そうすれば私たちは、共に聖餐に与れますから。祈りましょう。

天のお父様。まず第一に、主よ。ありがとうございます。私たちがあなたを覚えて、これが出来るようにしてください、感謝します。主よ。私たちの代わりに十字架にかかり、私たちの罪の負債を全額支払ってください、ありがとうございます。主よ。今日ここにいる人、またオンラインでこれを見ている人の中に、あなたの御名を一度も呼び求めた事のない人がいるなら、私たちが聖餐に与るに際して、今日が彼らの救いの日となりますように。ありがとうございます。イエスの御名によって。アーメン。

取り急ぎ強調してお伝えしますが、私たちが、今手にしているのは、イエス・キリストの体の象徴です。私たちの為に、砕かれました。彼が、私たちの為に死なれた時に、です。ただ今日、共に聖餐に与るに当たって、もう一つお話ししておきたいのは、ルカの福音書の中で、2度、イエスは言われたのです。あの時、「この過ぎ越しの食事をすることを、どんなに望んでいたことか。過ぎ越しが神の国において成就するまでは...」**(ルカ 22:15-16)** 彼は、小羊の祝宴の話がされているのですよ？それが何を意味するか分かりますか？私たちは、主と共に与るのです。もうすぐ、それも間もなくです。それを今日、私たちは祝い、行っているのです。では共に、パンをいただきましょう。

主よ。あなたを覚えてこれができることを、私たちは、どうすればあなたに十分な感謝をすることが出来るでしょう。主よ。これが指し示し、これが行うものに感謝します。これによって、私たちもまた、それを待ち望み希望を得ます。すぐに私たちは、あなたと共にこれを頂くと知る事で、私たちが今直面している苦難を、乗

り越える力となります。特に、あなたが来られる時が、今までになかったほどに近づいていますから。主よ。これが最終的に成就する日、あなたの御国で、あなたと共に与る事を、私達も心から待ち望みます。

この杯は、イエス・キリストの血の象徴です。血潮の中に力がある。私達はそう歌い、そう言い、そう信じています。皆さんそれをご存知であることを望みますが、このイエスが私達の為に流された血潮に、どれほど威力があるかご存知ですか？イザヤが言いました。「たとえあなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のようになる。」(イザヤ1:18) それほどに威力があるのです。その威力は、神が、私たちの罪を、東が西から離れているほどに離してくださる。つまり無限です。さらにその威力によって、彼は私たちの罪を決して思い出されません。それほどに、イエス・キリストの血潮には威力があるのです。そして私達が手にしているのは、私達のために流された血潮を覚えて、お祝いです。共にいただきましょう。終わりましたら、どうぞご起立ください。

天のお父様。感謝します。救いと、私達の救いの喜びをありがとうございます。主よ。代価を支払ってくださって、ありがとうございます。その為にあなたは、私達に、無償で賜物を与えてくださいました。永遠のいのちという賜物です。主よ。私達に思い出させてくださり感謝します。あなたを覚えて、これを行うようにさせてくださり、ありがとうございます。毎日の忙しい生活の中では、特にハワイに住んでいると、毎日があまりにも忙しくて、私達は忘れてしまいます。どれほどの栄光が待っているのか、私達は忘れてしまいます。ですので主よ。私達があなたを覚えて、これを行えるようにしてくださり、感謝します。イエスの御名によって、祈ります。アーメン。

God bless you! 良い一週間をお過ごしください。木曜日のお会いしなければ、来週日曜にお会いしましょう。God bless you!

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Fuyuko Chishima